

保護者等向け

児童発達支援評価表

記入年月日:令和 2年 7月

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2			今年のように、長期にわたる休みが続いた場合、職員の人数、スペースともに十分でないと思う。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2		1	リハビリの職員が配置されるとうれしい
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	1			
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか	11	1			
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12				
	8 活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか	11			1	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2		3	
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12				
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※ iv 等)が行われているか	9	1		2	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	1			できることが増えている。どんなことをしているか、詳しく教えてくれるので、ありがたい。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1			
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	1	6	昨年、用事と重なり参加できなかった。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12					

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	1		わくわくだより楽しみにしています。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	8			4	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8			4	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1		4	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1		1	連絡ノートや写真をみて、こどもがいろいろ教えてくれる。 こどもの表情が、穏やかになり明るくなった。
	23	事業所の支援に満足しているか	12				

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....
(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		パーティションの利用、課題によって個室へ移動したり、工夫している。障がい特性を考慮しながら、訓練しやすいようにしている。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		十分である。今年度よりSTの職員も入っている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		子どもの目線に合わせて、カードを使用している。段差の解消ができていないところもあり、バリアフリー化は不十分などところもある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○	衛生面に気を配り、清潔で心地よい環境づくりに努めている。トイレの数、大きさ、明るさ等改善すべき点改善すべき点はある。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		その都度、または朝の申し送り時に情報共有している。目標と振り返りを行い、職員の情報共有を行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者へ自己評価表を記入してもらい、意見を取り入れながら、業務改善に努めている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページに公開している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	今後は受けていきたいと思っている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修・内部研修に参加する機会を設けている。
適切な	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者の方へ前期、後期とアセスメントシートに記入してもらい、分析したうえで個別支援計画を作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		必要に応じて、絵カードや写真カードを使用している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		各方面を考慮しながら、支援に必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定している
13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		日々、話し合い、支援計画に沿った支援を心掛けている	

支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	担当者が、行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	発達状況に応じて、工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	個別の活動と集団活動を組み合わせて、毎日活動を行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	支援開始前に打ち合わせをしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	その日のうちに、情報共有を行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	毎日記録を取り、支援の検証、改善を行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	半年に一度モニタリングをしている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	担当者が、担当者会議に参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	福祉課とも連携を取っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	現在は、医ケアが必要な児がいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	現在は、医ケアが必要な児がいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	情報共有会議を行い、相互理解を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	情報共有会議を行い、相互理解を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	スーパーバイザーの派遣、他施設のSTの職員より、助言を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	現在は、していない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	管理者が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	連絡ノートへ記入したり、送迎時その日の様子を保護者へお伝えしている。 モニタリング時期に、発達の様子や現状について報告している。

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○	ペアレント・プログラムを国東市より委託され、法人が年に2クール行っている。 （今年は、コロナ予防の為、実施できていない）
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	利用の際に、保護者へ説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	計画書を保護者へ説明し、支援内容の同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	十分な時間を確保し、適宜必要な助言や支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	今年は、コロナウイルス感染拡大防止の為、開催できていないが、保護者参加型のイベントを行い、連携を支援している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	相談や申し入れがあった場合は、可能な限り迅速かつ適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	お便りを毎月、発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	十分配慮している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	個別で対応できるように、状況に応じて、配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	法人が、開催する地域イベントに招待し、参加していただいている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	現在は、作成中である。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	毎月1回、避難訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	聞き取りの際に、保護者へ受診等の確認を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	保護者からのききとりで、対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハットを作し、法人内でも見直している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	定期的に、虐待防止の研修会を設けている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束に当たる行為はしていない。

2020 年度 自己評価反省

- ・第三者による外部評価を今後は受けていきたいと思う

- ・新型コロナの影響もあり困難が多いが、地域と交流をもっと増やしていきたい。

- ・内部だけでなく、外部から見た意見も大事にし、日々の支援に活かしていきたい。

各園の保育士さん、保健師さん、他、誰にとっても見学しやすい場所にし、風通しの良いいきいきっ子にしていく。

- ・利用者の方々の療育の向上はもちろん、居心地の良い空間づくりに、これまで以上に努めていきたい。

- ・利用者の方、保護者の意見に耳を傾け、質の向上を目指していく。

- ・災害時には、慌てずに対応できるように、日頃より準備を十分に行っていく。

2019年度 評価表の反省 振り返り

○放課後等デイサービス評価表 保護者向け

- ・スペースが狭い→配置を工夫していく
- ・中がどうなっているかわからない→見学できるように送迎時保護者にすすめる。
- ・地域の子どもたちと交流する機会について→図書館のイベント等に参加したりしている。
- ・保護者同士の連携支援について→外部講師を呼ぶなど今までと少し違う形で連携できる機会を設ける。
- ・事業所の支援→リトミックや工作遊びを取り入れてほしいという意見をうけ、取りいれている。

○放課後等サービス評価表 事業所向け

- ・事業所の設備→トイレのドアの開閉を改修した。
- ・支援の打ち合わせについて→会議を行う時間を設けるようにする。
- ・関係機関との連携について→学校等との情報交換をもっと積極的にしていく。
- ・専門機関との連携について→S Vを呼び、気になる児童について助言をしてもらう。
- ・非常時の対応について→緊急時対応マニュアル等を保護者にも周知していく。

○児童発達支援評価表 保護者向け

- ・環境面について→生活空間について、わからない保護者が多いので、もう少し保護者の方にわかりやすく工夫したり、中に入って様子を見てもらうようにする。
- ・非常時の対応について→避難訓練を毎月行い、保護者に対してしていることがわかるように、わくわくだよりも予定を入れ込んでいく。

○児童発達支援評価表 事業所向け

- ・支援について→会議を増やし、役割分担をしてスムーズに支援ができるようにする。
- ・関係機関との連携について→これまで以上に福祉課や保育所と連携し、情報共有し、より良い支援に繋げていく。

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	4	1	狭いと思う 落ち着いて、過ごせる個室のスペースがあるといい
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	2		わからない
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	5		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	4	5	時期的には、仕方がないと思う。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	1		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	5	2	参加される保護者が固定化している連携となると少し工夫がいるのかなと思う。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	2		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	2		いきいきっ子だよりを楽しみにしている。
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	14			
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	4		
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	1		
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12			
	18 事業所の支援に満足しているか	12			

(注釈)

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パーティションの使用、昨年1部屋をリフォームすることで、スペースを確保した。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	所々、段差があり、バリアフリー化の配慮は必要。車椅子スロープが欲しい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善の為、常に見直しを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者にアンケートをお願いし、意向等踏まえ業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後は、受けてみたいと思っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員研修を行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートを保護者にも、記入していただき、参考にしながら行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			個別に行動観察を行い、それぞれの対応をしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当職員がおこなっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの状況に合わせて工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々で目標を決め、それに依じて支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の活動、集団活動を組み合わせ、計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			開所前に打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			時間がない時は、翌日になるが必ず共有している。

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、個人日誌等の記録を行っている。
----	--	---	--	--	--------------------

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			適宜モニタリングしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		時間が短いため複数とまではしていない。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			責任者が、担当者会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者、学校とも話し合い、連携している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			今は、医療的ケア児はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用前に、各園へ見学へ行ったり、様子をうかがいに行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			事業所にて、担当者会議を行った。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			スーパーバイザーや、外部の事業所より、助言をいただく機会を設けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在はしていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			担当者が、参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			帰りに、その日の活動、学校や家での状況などを聞いている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	コロナの影響で、今年はまだ開催されていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用の際には、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	これからもっと、保護者からの悩みを話していただけるように配慮が必要である。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今年度は、開催できていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの意見を参考に支援の見直しを図っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、いきいきっ子だよりを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			十分配慮している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個別に対応できるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			秀溪まつりを年に1度行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	現在作成中である
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回避難訓練をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			担当者が、研修会に参加し、事業所内で、話し合っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束を行う必要のある子どもはいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者からの聞き取りで、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			